

国
語



問一 ㉑警告 ㉒納得 ㉓戻 ㉔厳密

問二 ㉕④ ㉖③

問三 ③

問四 最初・現実の物を 最後・れているか

問五 対象の物が実際にそうであるように概念的に理解する（二十五字以内）

問六 実際に物を見た経験がなくてもその色をしているものの集合を覚えることで色の概念を獲得して理解する（五十字以内）

問七 空間把握

問八 ・同じ空間でも、視点によって見え方が全く異なります

・一度に複数の視点を持つことはできません

問九 ③



解答

問一 (a)行楽 (b)帳場 (c)ぶしゅうぎ (d)かんぶつや (e)しにせ (f)突貫

問二 (1)得意先の結婚式場「小津会館」 (2)結婚式の引出物

問三 熨斗紙に書く両家の名前は、新郎側である「杉本」を右に書くということ。

問四 ③、⑥

問五 高価な特製の熨斗紙を使う点に店のこだわりが表れているから。(三十字以内)

問六 かつを節を削る手間を省き、花かつをや粉かつをの状態で卸問屋から仕入れて売ること。

問七 地元の間人関係を知る強みで発注ミスに気づくなど、機転を利かせられるということ。(四十字以内)

問八 小津会館がかつを節の発注先を江州屋乾物店から「やまふじ」に変えようとしたということ。

問九 駅前の植松化粧品店が改修工事の二か月間だけ江州屋乾物店の隣に仮店舗を出すということ。